

# ゲノム診療センター

## 1. 概要

近年遺伝子解析技術の進歩に伴い、様々な分野で遺伝子検査を行う機会が増えてきた。悪性腫瘍の分野では特定の遺伝子を調べることによって治療薬の選択を行う、いわゆるコンパニオン診断が多数保険診療に導入されているが、今後は同時に多数の遺伝子を網羅的に調べるパネル検査が保険収載される見込みである。遺伝子パネル検査では体細胞変異のみならず、生殖細胞系列の変異を検出する可能性があり、その結果は患者の家族への影響も無視できない。そのため検査の前には正確な情報提供とカウンセリングが必要となる。これら遺伝医療にまつわる問題に対し、診療科横断的に対応するための部門としてゲノム診療センターが2018年4月に開設された。

2017年より周産期分野において、母体血を用いた出生前遺伝学的検査（NIPT: non-invasive prenatal genetic testing）について日本医学会の施設認定を受け2017年9月より検査を開始。2018年には45件のカウンセリングを行った。このカウンセリングの経験に基づき当院における遺伝学的検査における遺伝カウンセリング加算の施設基準を取得した。また遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）、リンチ症候群、各種家族性腫瘍の遺伝子検査を導入した。

今後のがんゲノム医療は厚生労働省が認めた「がんゲノム医療中核拠点病院」が「がんゲノム医療連携病院」と連携をとり、がんの遺伝子解析を行い、その結果をもとに最適な治療を選択することを目指している。当院は名古屋大学医学部附属病院を中核拠点とした連携病院に指定された。

（センター長 岡田 真由美）

## 2. 活動報告

### (1) 施設認定等

施設認定	認定団体
母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設	日本医学会
遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設	一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構

- ・生殖医療に関する遺伝カウンセリング受入れ可能な臨床遺伝専門医
- ・がんゲノム医療連携病院
- ・遺伝カウンセリング加算